

令和8年度予算算定額 13,290千円

【導入の背景】

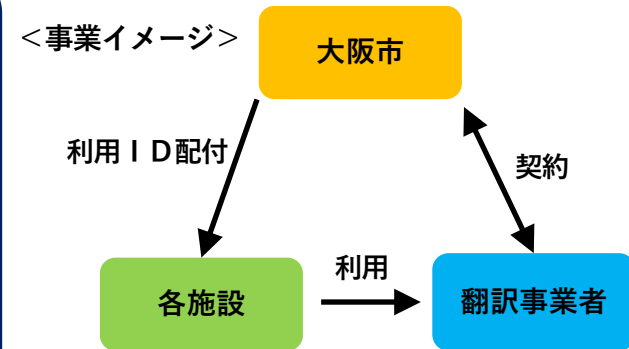
- 本市の外国人住民数は、約21万4千人で人口の約7.7%(政令指定都市最多)【※1】、外国人の転入超過は、1万9,903人(全国最多)【※2】となっており、外国につながる児童数も増加
- 各施設においては、翻訳機等を活用して、児童及び保護者への対応を行っているが、翻訳機等では対応できない事案が増加傾向

※1:大阪市 市民局(R7.12)
 ※2:総務省 人口動態調査(R7.8)

児童いきいき放課後事業及び留守家庭児童対策事業において、緊急時に利用できる多言語リモート通訳システムの利用を開始

【多言語リモート通訳システムの概要】

- PC・タブレット等を使用した翻訳オペレーターとのビデオ通話(3者通話)
- 各施設に備え付けのPC・タブレット等からシステムに接続可能
- システムにログインし、画面に沿って翻訳を希望する言語を選択すると、翻訳オペレーターと接続され、3者通話が可能
- 翻訳機等を活用した対応を基本としつつ、対応困難な場面における利用を想定(例:こどもの心情の把握、制度・ルール説明、保護者とのトラブル対応など)



【導入に向けたスケジュール(予定)】

